

Plan

Do

Check

Action

	プラン(3月)	プランの改訂(4月・9月)	プランの評価・改善(1月)
小 中 一 区 貫 に お け 携 る 取 組 推 進 地	<p>○地区内の小・中学校間で、授業参観を含めた研修会を行う。授業内容、指導計画、学力調査結果等を共有するとともに、課題の明確化を図る。</p> <p>・研修会では各教科や分掌の分科会で、各校の指導計画、課題の明確化等、具体的に情報の共有をする。</p> <p>○小中9年間継続し、基礎・基本の学力の定着を図る。</p> <p>・小学校、各学年での基礎・基本的な取組を受けて、復習確認テストをおこなう、南塾との連携、家庭学習の推進等、各学年の実情に即した指導を工夫する。</p> <p>○学習規律の確立と定着</p> <p>・チャイム2分前着席、忘れ物をしない、提出物の確認等、生徒の自主的な活動も含め定着させていく。</p> <p>○言語活動の力を定着させるため、読書活動を積極的に行う。</p> <p>・朝読書、教科、図書館活用による読書の定着をさせる。</p>	<p>○地区内の小・中学校間で、授業参観を含めた研修会を行う。授業内容、指導計画、学力調査結果等を共有するとともに、課題の明確化を図る。</p> <p>・研修会では各教科や分掌の分科会で、各校の指導計画、課題の明確化等、具体的に情報の共有をする。</p> <p>○小中9年間継続し、基礎・基本の学力の定着を図る。</p> <p>・小学校、各学年での基礎・基本的な取組を受けて、復習確認テストをおこなう、南塾との連携、家庭学習の推進等、各学年の実情に即した指導を工夫する。</p> <p>○学習規律の確立と定着</p> <p>・チャイム2分前着席、忘れ物をしない、提出物の確認等、生徒の自主的な活動も含め定着させていく。</p> <p>○言語活動の力を定着させるため、読書活動を積極的に行う。</p> <p>・朝読書、教科、図書館活用による読書の定着をさせる。</p>	<p>○協同的探究学習を含めた小学校での授業参観、小中連携研修会を行った。</p> <p>・研修会では、各教科、分掌の分科会で、各校の指導計画、課題の明確化、具体的な授業内容や、生活指導等の情報共有を行った。</p> <p>○小中9年間継続し、基礎・基本の学力の定着を図った。</p> <p>・特に数学で小学校からの習熟度指導を継続し学力の定着を図った。また地域で実践している協同的探究学習等も取り入れ各学年の実情に即した指導をした。</p> <p>○学習規律の確立と定着させた。</p> <p>・チャイム2分前着席は生徒活動に取り入れ定着させることができた。忘れ物、提出物について、家庭の協力も得ながら、今後さらに改善したい。</p> <p>○言語活動の力を定着させるため、読書活動を積極的に行った。</p> <p>・朝読書、教科、図書館を活用し、読書時間が定着した。</p>
国 語	<p>○漢字や語彙力を身につける。</p> <p>・ドリルや小テストを繰り返すことで、さらなる定着を図る。</p> <p>・言い換えられる言葉や派生した言葉、類義語を理解させる。</p> <p>○論理的文章への関心やその読解力を身につけさせる。</p> <p>・辞書を引き機会を増やし、短文作りや作文を書く上での表現に活用させる。</p> <p>・単元に関わる資料を示して、読解の工夫を図る。</p> <p>○コミュニケーションの能力を身につける。</p> <p>・班学習を取り入れるなど、授業形態を工夫して伝えあう場面を作る。</p> <p>・自らの考えを述べるスピーチの機会をつくり、その際根拠を明らかにさせる。</p> <p>○ふさわしい表現で書く力を身につけさせる。</p> <p>・文章を書くときに、話し言葉と書き言葉を区別させて取り組ませる。</p> <p>・よりよい言葉や表現を調べたり、考えさせる機会をつくる。</p>	<p>○漢字や語彙力を身につける。</p> <p>・ドリルや小テストを繰り返すことで、さらなる定着を図る。</p> <p>・言い換えられる言葉や派生した言葉、類義語を理解させる。</p> <p>○論理的文章への関心やその読解力を身につけさせる。</p> <p>・辞書を引き機会を増やし、短文作りや作文を書く上での表現に活用させる。</p> <p>・単元に関わる資料を示して、読解の工夫を図る。</p> <p>○コミュニケーションの能力を身につける。</p> <p>・班学習を取り入れるなど、授業形態を工夫して伝えあう場面を作る。</p> <p>・自らの考えを述べるスピーチの機会をつくり、その際根拠を明らかにさせる。</p> <p>○ふさわしい表現で書く力を身につけさせる。</p> <p>・文章を書くときに、話し言葉と書き言葉を区別させて取り組ませる。</p> <p>・よりよい言葉や表現を調べたり、考えさせる機会をつくる。</p>	<p>○言葉に関わる知識の定着を図った。</p> <p>・単元ごとの内容の確認や漢字の定着を図る小テストを行った。</p> <p>・授業の冒頭で名言を黒板に平仮名で書いて、各自のノートに漢字に直させた。また、辞書を使って抽象的な言葉の意味と類義語調べをした。</p> <p>○情報や基礎知識を踏まえて、文章を読むように努めた。</p> <p>・辞書を引きながら漢語と和語で文章を書き分ける機会を設けた。</p> <p>・短歌、俳句や古典に関わる単元で、資料を示して理解を図った。</p> <p>○全学年でビジュアルカードを用い、スピーチの機会を設けた。</p> <p>・下書きの文章ではなく手元のメモを元にして発表させ、話す力を伸ばすよう努めた。</p> <p>・自らの主張に対する説得力ある根拠を考えさせ、まとめて述べるように指導したが、ステップアップできる生徒があまり多くなかった。</p> <p>○単元ごとに文章を書く時間を作った。</p> <p>・文章を書く機会をさらに多く設ける必要がある。話し言葉をそのまま文章に書いてしまうことがまだ多い。</p> <p>・俳句を作る上で推敲をさせて、感じ取ったことを工夫して表現に直すよう努めた。</p>
数 学 (算 数)	<p>○基礎・基本の定着。全体のレベルの向上。</p> <p>・小学校より継続している、個々の力を伸ばす少人数制習熟度別指導の充実を図る。</p> <p>・夏季休業中や定期考査前に補充授業を行い、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>・小テストの実施で、前回までの復習と定着の確認をする。</p> <p>○家庭学習をする習慣化。</p> <p>・ノート・ワーク等を定期的に回収し、生徒の理解度や習熟度を把握すると同時に家庭学習の習慣づけを支援する。</p> <p>○数学的な物の見方や考え方を身に付ける。</p> <p>・身近なところに数学があることに気付かせるような具体例を紹介する。</p> <p>・一つの解法だけでなく、複数の解法を考えさせる。</p> <p>・問題演習の時間を確保し、じっくりと文章を読み、論理的問題を読み取る力を身につけさせる。</p> <p>○授業への意欲をもつて自ら学ぶ姿勢を育てる。</p> <p>・学習活動の個別化を図るために、授業で使用する教材の内容を精選し、効果的に関心・意欲・態度が高まる教材を導入していく。</p> <p>・問題の内容の理解を高めるよう図解などの工夫をする。</p> <p>・少人数授業を展開する上で、教員間の連携を密に教材を共有するなどの工夫をする。</p> <p>○数学的な表現力をつけることで、自分の考えを他の人に示す力。</p> <p>・発問を多く取り入れて生徒参加型授業を実践する。</p> <p>・少人数制習熟度別指導の利点を生かし、自分の考えを発表する機会を増やす。</p> <p>・グループ学習を活用する。</p>	<p>○基礎・基本の定着。全体のレベルの向上。</p> <p>・小学校より継続している、個々の力を伸ばす少人数制習熟度別指導の充実を図る。</p> <p>・夏季休業中や定期考査前に補充授業を行い、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>・小テストの実施で、前回までの復習と定着の確認をする。</p> <p>○家庭学習をする習慣化。</p> <p>・ノート・ワーク等を定期的に回収し、生徒の理解度や習熟度を把握すると同時に家庭学習の習慣づけを支援する。</p> <p>○数学的な物の見方や考え方を身に付ける。</p> <p>・身近なところに数学があることに気付かせるような具体例を紹介する。</p> <p>・一つの解法だけでなく、複数の解法を考えさせる。</p> <p>・問題演習の時間を確保し、じっくりと文章を読み、論理的問題を読み取る力を身につけさせる。</p> <p>○授業への意欲をもつて自ら学ぶ姿勢を育てる。</p> <p>・学習活動の個別化を図るために、授業で使用する教材の内容を精選し、効果的に関心・意欲・態度が高まる教材を導入していく。</p> <p>・問題の内容の理解を高めるよう図解などの工夫をする。</p> <p>・少人数授業を展開する上で、教員間の連携を密に教材を共有するなどの工夫をする。</p> <p>○数学的な表現力をつけることで、自分の考えを他の人に示す力。</p> <p>・発問を多く取り入れて生徒参加型授業を実践する。</p> <p>・少人数制習熟度別指導の利点を生かし、自分の考えを発表する機会を増やす。</p> <p>・グループ学習を活用する。</p>	<p>○基礎・基本の定着。全体のレベルの向上に努めた。</p> <p>・小学校より継続している、個々の力を伸ばす少人数制習熟度別指導を実施した。</p> <p>・夏季休業中や定期考査前に補充授業を行うなど、基礎・基本の定着を図るよう努めた。</p> <p>・小テストを実施し、前回までの復習と定着の確認をした。</p> <p>○家庭学習をする習慣化を図った。</p> <p>・ノート・ワーク等を定期的に回収し、生徒の理解度や習熟度を把握すると同時に家庭学習の習慣づけを支援した。</p> <p>○数学的な物の見方や考え方を身に付けられるよう努めた。</p> <p>・身近なところに数学があることに気付かせるような具体例を紹介した。</p> <p>・一つの解法だけでなく、複数の解法を考えられるよう、グループ学習を取り入れた。生徒に解説させるなどの工夫をした。</p> <p>・問題演習の時間を確保し、じっくりと文章を読み、論理的問題を読み取る力を身につけさせるよう努めた。</p> <p>○授業への意欲をもつて自ら学ぶ姿勢を身に付けた。</p> <p>・学習活動の個別化を図るために、授業で使用する教材の内容を精選し、効果的に関心・意欲・態度が高まる教材を導入した。</p> <p>・問題の内容の理解を高めるよう図解などの工夫をした。</p> <p>・少人数授業を展開する上で、教員間の連携を密に教材を共有するなどの工夫をした。</p> <p>○数学的な表現力をつけることで、自分の考えを他の人に示す力を身につけるよう指導した。</p> <p>・発問を多く取り入れて生徒参加型授業を実践した。</p> <p>・少人数制習熟度別指導の利点を生かし、自分の考えを発表する機会を増やした。</p> <p>・グループ学習を活用し、自分の意見を他の人に示しやすい雰囲気などをつくった。</p>
理 科	<p>○特に基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。</p> <p>・基礎基本を復習する時間を確保し、繰り返し指導する。</p> <p>・毎回の授業で課題を明確にし、それを意識させた授業を展開する。</p> <p>○課題に対し、自ら意欲的に学ぶ姿勢を身に付けさせる。</p> <p>・実験・観察を多く取り入れ、より科学的に探究する力の基礎と態度を育てる。また、見ているだけで、取り組もうとしない生徒には巡回しながら、その生徒に何ができるかを具体的にアドバイスする。</p> <p>・レポートの書き方や実験の操作方法等の説明をする時間を多く取り、より充実した実験・観察の時間を確保する。</p> <p>○実験観察の結果をライティングシート等を用いて考察させ、自らの考えを導きだし、表現する力を育てる。</p> <p>・実験・観察の内容を考察する時間を多く取り、充実したものにする。またワークシート等を用いて科学的思考を問う問題に取り組みさせる。</p> <p>・実験・観察の結果のまとめ方、考察の仕方を身に付けさせるよう、ワークシート等を工夫し、自らの考えを表現させる機会を多くする。</p> <p>・とくに「読み解く力」の育成をねらいとした授業を実施する。具体的には、各学年でグラフを活用する授業を展開する。グラフを活用することにより、データや結果を考察して事物・現象の特徴や規則性などを推論することができるように指導する。</p> <p>・生徒による話し合い活動や発表活動などの「言語活動」を取り入れることにより、実験・観察への意欲を高め、科学的な思考力・表現力の育成を図る。</p>	<p>○特に基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。</p> <p>・基礎基本を復習する時間を確保し、繰り返し指導する。</p> <p>・毎回の授業で課題を明確にし、それを意識させた授業を展開する。</p> <p>○課題に対し、自ら意欲的に学ぶ姿勢を身に付けさせる。</p> <p>・実験・観察を多く取り入れ、より科学的に探究する力の基礎と態度を育てる。また、見ているだけで、取り組もうとしない生徒には巡回しながら、その生徒に何ができるかを具体的にアドバイスする。</p> <p>・レポートの書き方や実験の操作方法等の説明をする時間を多く取り、より充実した実験・観察の時間を確保する。</p> <p>○実験観察の結果を考察させ、自らの考えを導きだし、表現する力を育てる。</p> <p>・実験・観察の内容を考察する時間を多く取り、充実したものにする。またワークシート等を用いて科学的思考を問う問題に取り組みさせる。</p> <p>・実験・観察の結果のまとめ方、考察の仕方を身に付けさせるよう、ワークシート等を工夫し、自らの考えを表現させる機会を多くする。</p> <p>・とくに「読み解く力」の育成をねらいとした授業を実施する。具体的には、各学年でグラフを活用する授業を展開する。グラフを活用することにより、データや結果を考察して事物・現象の特徴や規則性などを推論することができるように指導する。</p> <p>・生徒による話し合い活動や発表活動などの「言語活動」を取り入れることにより、実験・観察への意欲を高め、科学的な思考力・表現力の育成を図る。</p>	<p>○小テストなどを定期的に行い、基礎的・基本的な知識の定着を図ったが、時間を確保できない学年もあった。</p> <p>・基礎基本を復習する時間を授業で確保し、繰り返し指導した。</p> <p>○定期的な小テストなどで課題を明確にし、それを意識した授業を展開した。</p> <p>○実験や観察を多く取り入れ、実物を見せるなどで単元の導入を工夫した。</p> <p>・実験・観察を多く取り入れ、より科学的に探究する力の基礎と態度を育てるよう努めた。</p> <p>・レポートの書き方や実験の操作方法等の説明をする時間を多く取り、より充実した実験・観察の時間を確保できるように努めた。</p> <p>○ライティングシート等を用いて、自らの考えを導き出し、表現する力を育てようとしたが、言語活動の時間をほとんど取り入れられない学年もあった。</p> <p>・実験・観察の結果のまとめ方や考察の書き方を身に付けさせるよう、ワークシート等を工夫した。</p> <p>・ライティングシートを活用し、生徒による話し合い活動や発表活動などの言語活動をとり入れ、実験・観察への意欲を高め、科学的な思考力・表現力の育成を図った。</p>
社 会	<p>○社会的事象に関する基礎・基本的な内容の定着を図る。</p> <p>・地図や電子黒板などの視聴覚教材を活用する。また、定期的な小テストやワークに取り組みさせ基礎・基本的な内容を理解させる。</p> <p>○学んだ知識や資料を活用して、地理的・社会的な視点で課題を捉える力を養う。</p> <p>・地図帳、資料、表やグラフなどを活用する機会を増やし、資料から読み取れることや資料から見えてくる社会的な事情を、既習した学習も踏まえて考えさせていく。</p> <p>○社会的事象に対する思考・判断・表現力を高めさせる。</p> <p>・課題を個別や集団で考えるような場面をつくり、多様な意見をもとに学び合い活動を進めたり、レポート作成などをさせたりする。特に、相手に伝わるような言語表現の仕方や説明に必要な語句への意識を高めるような指導をおこなう。</p>	<p>○社会的事象に関する基礎・基本的な内容の定着を図る。</p> <p>・地図や電子黒板などの視聴覚教材を活用する。また、定期的な小テストやワークに取り組みさせ基礎・基本的な内容を理解させる。</p> <p>○学んだ知識や資料を活用して、地理的・社会的な視点で課題を捉える力を養う。</p> <p>・地図帳、資料、表やグラフなどを活用する機会を増やし、資料から読み取れることや資料から見えてくる社会的な事情を、既習した学習も踏まえて考えさせていく。</p> <p>○社会的事象に対する思考・判断・表現力を高めさせる。</p> <p>・課題を個別や集団で考えるような場面をつくり、多様な意見をもとに学び合い活動を進めたり、レポート作成などをさせたりする。特に、相手に伝わるような言語表現の仕方や説明に必要な語句への意識を高めるような指導をおこなう。</p>	<p>○社会的事象に関する基礎・基本的な内容の定着を図る。</p> <p>・学年ごとに毎時間又は単元ごとなどで小テストを実施しており、特に3年生については徐々に意欲が高まっている。また、電子黒板での前回の授業の振り返りも効果的であった。</p> <p>○学んだ知識や資料を活用して、地理的・社会的な視点で課題を捉える力を養った。</p> <p>・地図帳、資料、表やグラフなどを活用する機会を増やし、都立入試、社会に出てからの分析力をつける。夏休みには資料活用に関する補習も実施した。</p> <p>○社会的事象に対する思考・判断・表現力を高めさせる。</p> <p>・課題を個別や集団で考えるような場面をつくり、多様な意見をもとに学び合い活動を進められた。4人組での意見交換が有効だった。</p>

	プラン(3月)	プランの改訂(4月・9月)	プランの評価・改善(1月)
英語	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」や「書くこと」を通して、自己表現力を高める。 スピーチの原稿を作成し、英語で発表する。 ALTを活用し、ALTと会話したり、インタビューしたりする。 基礎基本の定着を図る。 クイズ形式、ペアワーク、音読や問題演習など、さまざまな活動を通して学習に取り組ませる。 チャンツ(英文をリズムに合わせて歌うように読むもの)を定期的に行い、学習事項を定着させる。 読書の向上を図る。 毎学期スプリングコンテストを実施する。 ペアワークによる単語の学習を継続的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」や「書くこと」を通して、生徒の自己表現力を高める。 スピーチの原稿を作成させ、英語で発表させる。 ALTを活用し、ALTと会話させたり、インタビューさせたりする。 基礎基本の定着を図る。 クイズ形式、ペアワーク、音読や問題演習など、さまざまな活動を通して学習に取り組ませる。 チャンツや英語の歌を取り入れ、生徒が意欲的に活動できるよう工夫する。 家庭学習を充実させるため、復習となる課題を与え、その課題を評価する。 読書の向上を図る。 毎学期スプリングコンテストを実施する。 ペアワークによる単語の学習を継続的に進めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」や「書くこと」を通して、生徒の自己表現力を高める。 学期に一度はスピーチコンテストを実施した。その際、声の大きさやアイコンタクトなど、コミュニケーション能力を高める指導も合わせて行った。 ALTを活用し、会話やインタビューをさせて表現力を向上させた。 基礎基本の定着を図る。 クイズ、ペアワーク、音読や問題演習などさまざまな活動を通して、授業に飽きさせず集中して学習に取り組ませた。 チャンツや英語の歌を取り入れ、生徒が意欲的に楽しみながら活動できるよう工夫した。 家庭学習を充実させるため、復習となる課題をほぼ毎時間与え、それを評価するようつとめた。 読書の向上を図る。 学期ごとにスプリングコンテストを実施し読書力を向上させた。 ペアワークなどによる単語学習を継続的に進めさせ記憶させた。 全体を通して、概ね計画通りに推進できた。今後はより確実な力を定着させるため、さらに粘り強い指導を継続したい。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な読譜力・音楽知識を身につける。 音楽の基礎・基本、楽譜の読み方を理解できるようワークシート等活用しながら知識・技能の習得を図り、合唱・合奏の実践に役立てる。 毎回の授業のはじめに課題を明確化し、終わりには自己評価カードを使用して、自分の考えを表現させ、評価させることにより、次の時間の指導につなげていく。 音楽に親しみ、進んで表現できる力、技能の向上。 CD・DVD等の音楽機器の使用、発声・パート練習方法の工夫を効果的に使い、関心意欲を高める。 パート練習ではお互いに聞きあい、協力的な活動を通じ技能の向上を図る。 全校行事等の表現活動を通じ、仲間と音楽を創り上げる喜び、協力、充実感を学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な読譜力・音楽知識を身につける。 音楽の基礎・基本、楽譜の読み方を理解できるようワークシート等活用しながら知識・技能の習得を図り、合唱・合奏の実践に役立てる。 毎回の授業のはじめに課題を明確化し、終わりには自己評価カードを使用して、自分の考えを表現させ、評価させることにより、次の時間の指導につなげていく。 音楽に親しみ、進んで表現できる力、技能の向上。 CD・DVD等の音楽機器の使用、発声・パート練習方法の工夫を効果的に使い、関心意欲を高める。 全校行事等の表現活動を通じ、仲間と音楽を創り上げる喜び、協力、充実感を学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な読譜力・音楽知識を身につけさせた。 音楽の基礎・基本、楽譜の読み方を理解できるようワークシート等活用した。DVD、CD等の音楽機器も使用し、理解を深める助けとした。 毎回の授業のはじめに課題を明確化し、終わりには自己評価カードを使用して自分の考えを表現させ、評価し、今後の改善につなげた。 音楽に親しみ、進んで表現できる力、技能の向上。 CD・DVD等の音楽機器の使用は理解を深める助けとなった。 発声・パート練習では、グループ活動も効果的に取り入れた。 全校行事が成功することにより、仲間と音楽を創り上げる喜び、協力、充実感を学ばせることができた。
美術(図工)	<ul style="list-style-type: none"> 美術を愛好する心と基礎的な知識を身に付けさせる。 身近な素材や具体的な例を取り上げ、美術を身近に感じることができるよう工夫する。また、実技を実演したり、映像や写真などを見せる指導を多く取り入れる。完成までの過程の楽しさに気づかせる。 実技を通して、判断力や決断力、自分で考える力に気づかせる。 要求された課題に対して、自分で考える場面を増やし、人を頼らないで自分で考える練習を多くする。そのために、適宜、声をかけ、意欲的に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術を愛好する心と基礎的な知識を身に付けさせる。 身近な素材や具体的な例を取り上げ、美術を身近に感じることができるよう工夫する。また、実技を実演したり、映像や写真などを見せる指導を多く取り入れる。完成までの過程の楽しさに気づかせる。 実技を通して、判断力や決断力、自分で考える力に気づかせる。 要求された課題に対して、自分で考える場面を増やし、人を頼らないで自分で考える練習を多くする。そのために、適宜、声をかけ、意欲的に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術を愛好する心という点では、授業アンケートから、9割を超える生徒が積極的に取り組めた。興味や意欲をもって取り組めたこと回答したことから鑑み、育てることができたと思う。また、基礎的な知識についても、一度学んだ技能を、再度別の課題で活用する場面もあり、より身に付いたと思う。これも、授業中にできる限り、個別に声をかけ、作品への取り組みや進み具合、完成度について、アドバイスしたこともよかったと思う。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> 1人1人の技能を向上させる。 生徒の様子を記録し、苦手意識をもっている生徒に励ましの言葉、助言をかける。 目的をもって作品を製作する力。 授業毎の課題を明確にし、自分で考えて作業をする力を身につけさせる授業にする。 説明を理解する力をつけさせる。 教師の説明や、説明書などをきちんと理解する。そのため、わかりやすい言葉がけや見やすいプリント等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1人1人の技能を向上させる。 生徒の様子を記録し、苦手意識をもっている生徒に励ましの言葉、助言をかける。また、生徒同士で教え合わせることでコミュニケーションを図らせながら作品を進める。完成した作品を発表することで、言語活動を行う。 目的をもって作品を製作する力。 授業毎の課題を明確にし、自分で考えて作業をする力を身につけさせる授業にする。 説明を理解する力をつけさせる。 教師の説明や、説明書などをきちんと理解する。そのため、わかりやすい言葉がけや見やすいプリント等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1人1人の技能を向上させる。 生徒の様子を記録し、苦手意識をもっている生徒に励ましの言葉、助言をかける。また、生徒同士で教え合わせることでコミュニケーションを図らせながら作品を進める。完成した作品を発表することで、言語活動を行う。 目的をもって作品を製作する力。 授業毎の課題を明確にし、自分で考えて作業をする力を身につけさせる授業にする。 説明を理解する力をつけさせる。 教師の説明や、説明書などをきちんと理解する。そのため、わかりやすい言葉がけや見やすいプリント等の工夫を行う。また、授業の内容を動画で見せ、視覚から理解させる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動が苦手な生徒に、運動の喜びや楽しさを味わわせるようにすること 視覚的教材の充実とその活用を実践する。 習熟度の高い生徒をスマールティーチャーとして活用する。 自ら課題を見つけ、その課題に一生懸命に取り組む、実践できる力をつける。 学習カードの充実を図り、自己の運動の様子を継続して、確保して活用していく 	<ul style="list-style-type: none"> 運動が苦手な生徒に、運動の喜びや楽しさを味わわせるようにすること 視覚的教材の充実とその活用を実践する。 習熟度の高い生徒をスマールティーチャーとして活用する。 自ら課題を見つけ、その課題に一生懸命に取り組む、実践できる力をつける。 学習カードの充実を図り、自己の運動の様子を継続して、確保して活用していく 	<ul style="list-style-type: none"> 運動が苦手な生徒に、運動の楽しさを味わわせるようにすること 各学年ごとにスマールティーチャーを立てるなどの工夫を行っている。 iPadやタブレット等の視覚教材が使用できるとの喜び。 自ら課題を見つけ、その課題に一生懸命に取り組む、実践できる力をつける。 学習カードを各単元で用い、事故の運動の様子を継続して考察できるようにしている。
総合(生活)	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を発見し、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題解決する資質や能力を育てる。 調べ学習のための調べ学習を地道、図書室等をしながら身に付けさせる。 学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができること。 積極的に地域や社会との連携を図り、交流ができること。特に校外学習・移動教室・修学旅行・職場体験等をその機会として有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を発見し、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題解決する資質や能力を育てる。 調べ学習のためのスキルのPC室、図書室等を活用しながら身に付けさせる。 学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができること。 積極的に地域や社会との連携を図り、交流ができること。特に校外学習・移動教室・修学旅行・職場体験等をその機会として有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年ともプランを意識して学習活動に取り組ませることができた。今年度は改修工事の関係で、PC室や図書室が使いにくい時期もあったが、工事が終了し、その問題も解決され、活用の機会が広がると思われる。 各学年とも自己の生き方を考える機会につながる学習内容が含まれており、その取り組みを通して、プランに迫ることができていた。 これも、学習内容の中に織り込まれており、プランのねらいどおりの活用ができた。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 他の人の立場を尊重しながら思いやりの心をもって接する態度を育てる。自分の所属する集団の在り方を十分理解し、自己の役割と責任を自覚するとともに協力し合っって集団生活の向上に努める。 ともに語り、悩み、共感し、そして励まし合い高め合うことのできる人間関係を育てる。不正を憎み、不正な言動を断固として否定することにより、差別や偏見のないよりよい社会の実現に尽くすように努める。 世界的な視野をもち、外国の人々や異文化に対する理解と尊敬の念を重視し、世界の平和と人類の幸福に貢献するように努める。 文科省、東京都、町田市の教材を利用し、集団討論など互いの意見を出し合う機会を積極的に設け、理解を深める。 授業、行事などでの体験活動を通して、道徳的な視点を投げかけ、集団的に考え理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の人の立場を尊重しながら思いやりの心をもって接する態度を育てる。自分の所属する集団の在り方を十分理解し、自己の役割と責任を自覚するとともに協力し合っって集団生活の向上に努める。 ともに語り、悩み、共感し、そして励まし合い高め合うことのできる人間関係を育てる。差別や偏見のないよりよい社会の実現に尽くすように努める。 世界的な視野をもち、外国の人々や異文化を理解するように努める。 文科省、東京都、町田市の教材を利用し、集団討論など互いの意見を出し合う機会を積極的に設け、理解を深める。 授業、行事などでの体験活動を通して、道徳的な視点を投げかけ、集団的に考え理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業だけでなく、学校生活の各場面でも繰り返し触れられる内容でもあり、相互に作用しながら生徒たちにも浸透し、集団生活の向上に努められる生徒たちが育っている。 生徒の実態からすれば「好ましい人間関係づくり」「より良い社会の実現」については、今後も考える機会を継続的にもつことは大切であると考えられる。道徳の授業の中でも引き続き、貴重な機会としてとらえていきたい。 さまざまな授業で国際理解の機会ももたれる今日、道徳の授業の中でもその大切さは同様である。国際理解に関する授業を織り込んでいる現状の計画を大切にしながら、今後も工夫しつつ学習に取り組ませたい。
特活	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動を通して望ましい人間関係を形成すること。 集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参加すること。 諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てること。 学級活動(男女相互理解、ボランティア活動、性教育、食育、キャリア教育)・生徒会活動・学校行事 	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動、生徒会活動、学校行事等の機会をとおらえて、学級活動を通して望ましい人間関係を形成すること。 集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参加すること。 諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てること。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の内容を根幹にしてさまざまな機会を設定できた。それらを通して、生徒の多くが好ましい成長を見た。今後の機会も大切にしながら、さらなる生徒の成長を見守りたい。

家庭学習のための工夫

- 定期テストのための、学習予定表の作成、「学習の記録」を通して、振り返り、結果のお知らせ、等を各家庭と共有し、状況の把握、課題の明確化、改善をはかる。
- 忘れ物をしない、提出物を出す、宿題等の状況を、保護者へ、面談で共有し、課題の明確化、改善をはかる。
- 放課後学習の時間は、南塾も利用した補助学習の取組を行う。